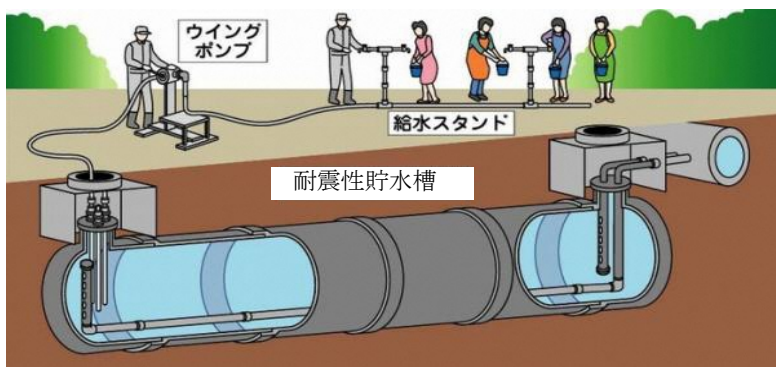
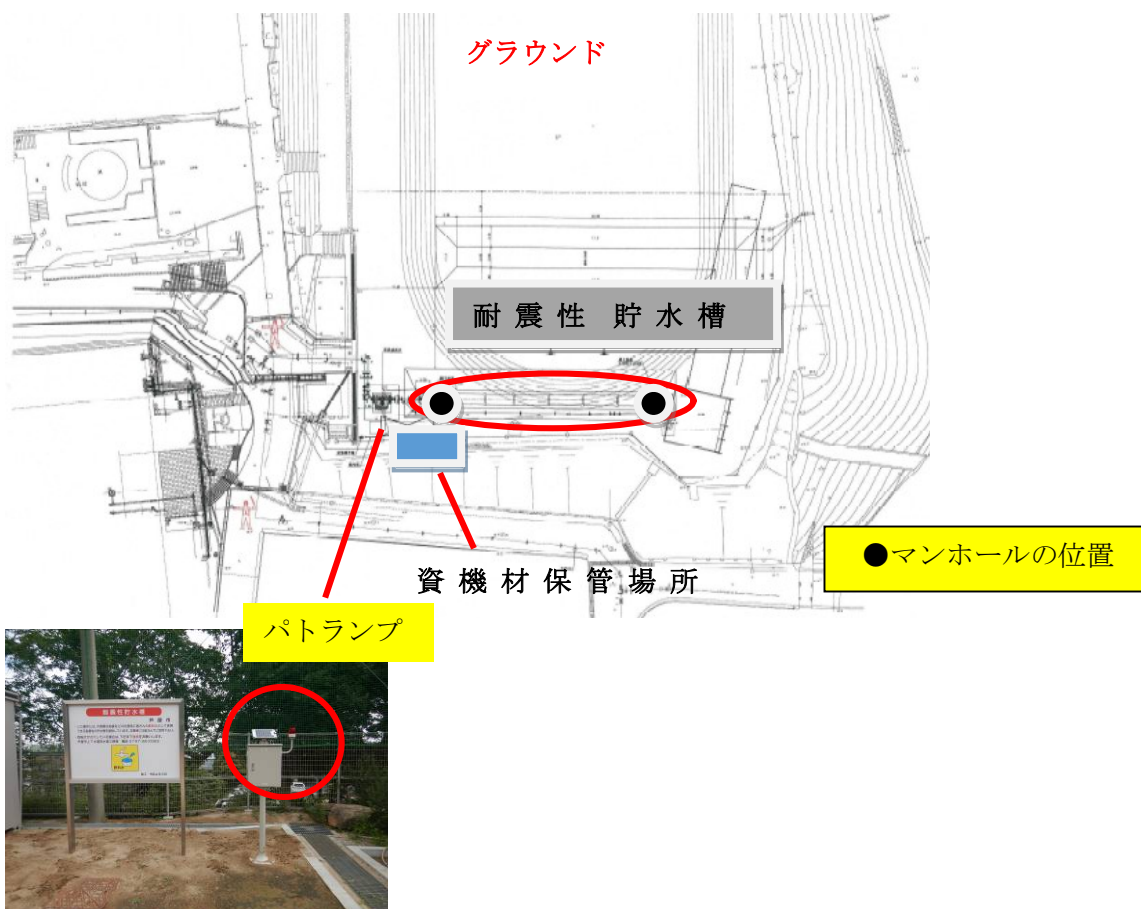


## 飲料水兼用耐震性貯水槽・ポンプー山手中学校編一

地震に強く、水を貯めることができる水槽で、配水管とつながっているため、平常時は水が循環しています。地震等の災害時には、緊急遮断弁が作動（パトランプが点灯）し、水を貯留しますので、ポンプを使って水をくみ上げて給水することができます。市内 11 基の耐震性貯水槽により、芦屋市民全員の 3 日分の飲料水を供給することが可能です。



### 1 設置場所



## 2 準備物



資機材保管場所から

- ① 「マンホール開閉バール」
- ② 「給水ホース」 3本を出します。

次のいずれかの給水方法に従い、給水用資機材（③または④～⑤）を出します。

【ウイングポンプを使用する方法】

- ③ 「ウイングポンプ」

【エンジンポンプ等を使用する方法】

- ④ 「エンジンポンプ」
- ⑤ 「収納箱及び組立式仮設給水栓一式」

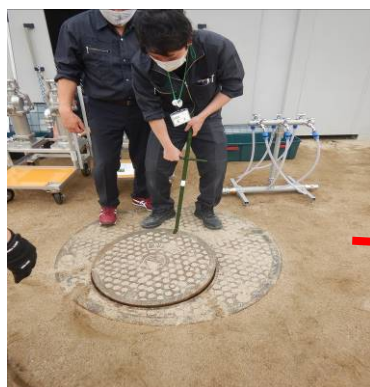
※ 「給水ホース」 も使用します。

## 3 貯水槽の準備



マンホール開閉バールを開閉用バール穴に挿入し、バールを90度回転しバールのフックが蓋にかかるようにし、持ち上げて蓋を180度回し、マンホールを開けます。

※蓋が持ち上がらない場合は、バールを差し込んだまま、少し左右に動かしてロックを外します。

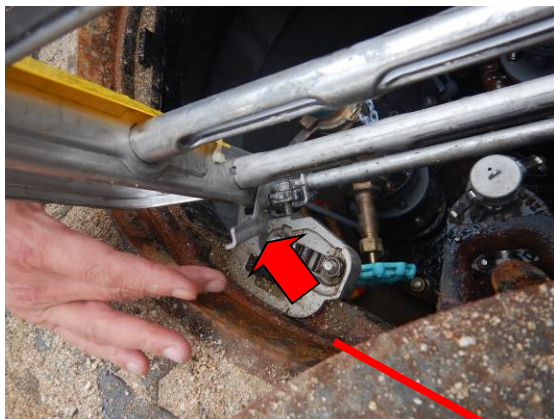




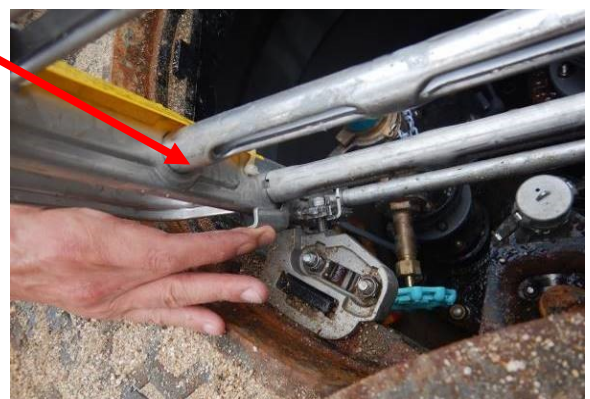
マンホールを開けたら、転落防止梯子がついているので、レバーを握りロックを外した上で、持ち上げロック（1段下がる）がかかる位置（90度）まで開けます。

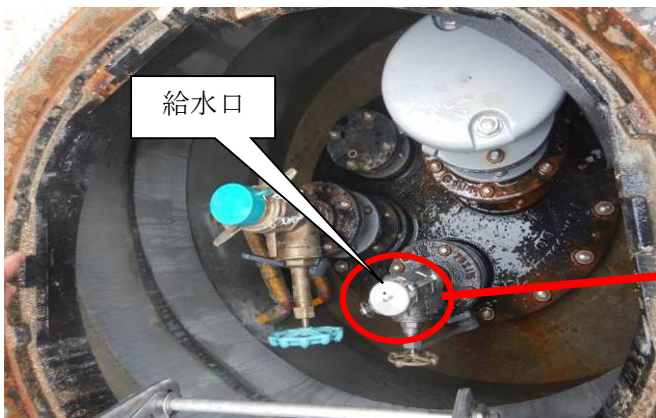


転落防止梯子を閉めるときは、ロックを梯子側に押しながら梯子を持ち上げ閉める。



※指を挟まないように注意

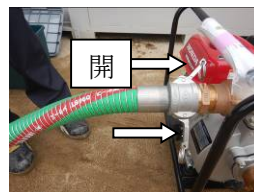




マンホールの中にある給水口のフタを開けます。



給水ホースをマンホールの中にある給水口に差し込みます。  
 ※レバーロックは固い場合がありますが、必ず締めて下さい。



レバーロック開

レバーロック締

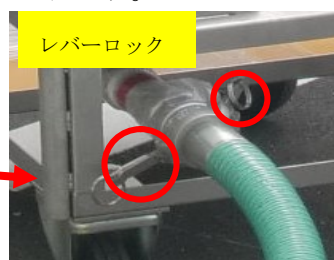
上記、基本接続方法により給水体制に入りますが、転落防止梯子開閉後、梯子間に給水ホースを挿入することによって、給水中も転落防止梯子の効果が発揮できます。開栓終了後、転落防止梯子がロック状態になっているか必ず確認します。



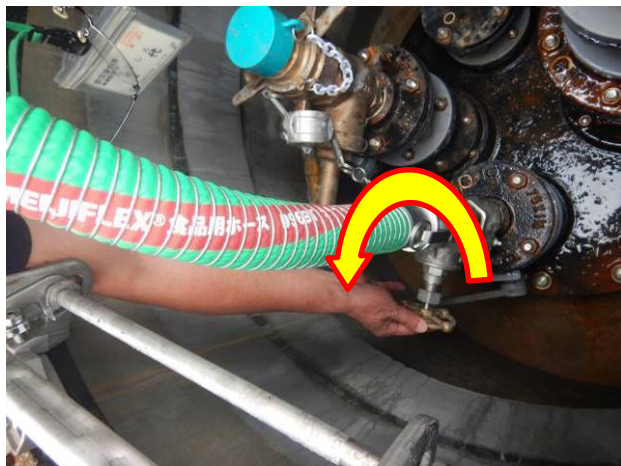
#### 4 ウイングポンプでの給水



給水ホースをウイングポンプの吸水口に差し込みます。



※レバーロックは固い場合がありますが、必ず締めて下さい。



マンホールの中の給水バルブを徐々に開けます。この時、バルブを一気に回さないように注意します。



ハンドルレバーを上下に動かすと、水が出ます。

※初めは、水道水が濁ることや勢いよく水が出るがありますが、しばらくするとお使いいただけます。



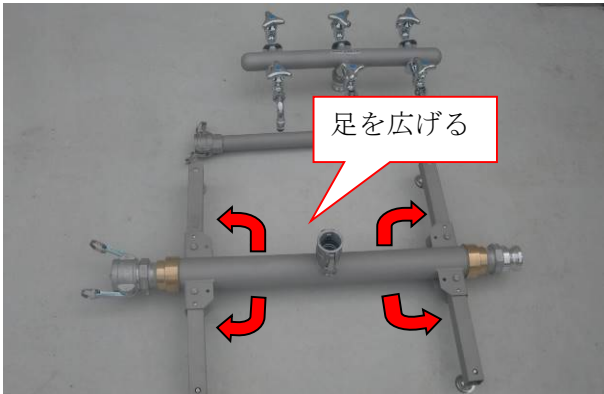
※蝶ねじを緩めハンドルレバーを差し込み蝶ねじを締める。

## 5 エンジンポンプでの給水（組立式仮設給水栓の組立て）

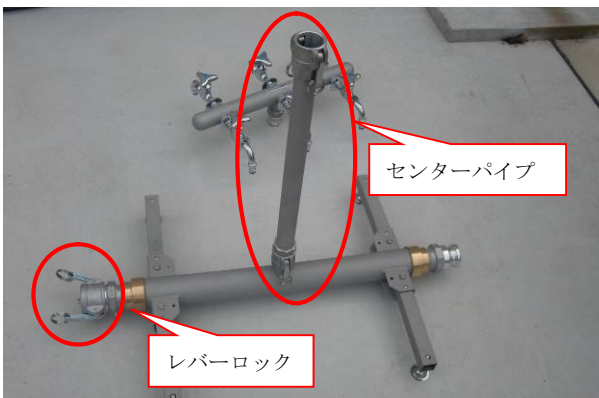


収納ケースから

- ① 水栓パイプ
  - ② センターパイプ
  - ③ 台座パイプ
  - ④ キャップ
  - ⑤ 給水ホース
- を出します。



台座パイプの4本の足を広げます。



台座パイプにセンターパイプを取り付けます。(レバーロックを押し上げた状態で奥まで差し込みレバーロックを締めます。)



水栓パイプを取り付けて完成です。  
※キャップを取付け，レバーロックを締め  
ておきます。

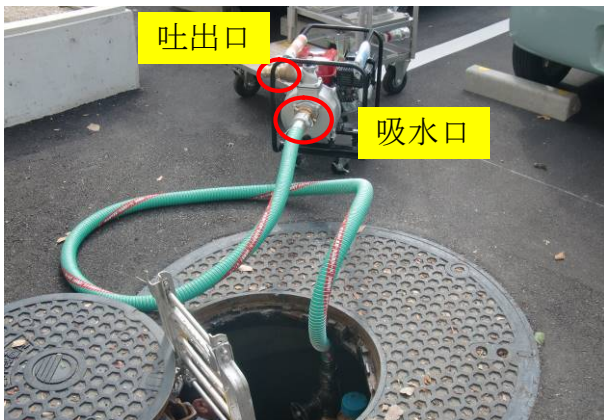
## 6 エンジンポンプでの給水 (エンジンポンプの準備)



給水ホースを組立式仮設給水栓の吸水口とエンジンポンプの吐出口に差し込みます。なお，組立式仮設給水栓の蛇口は必ず開けておきます。  
※レバーロックは固い場合がありますが，必ず締めて下さい。

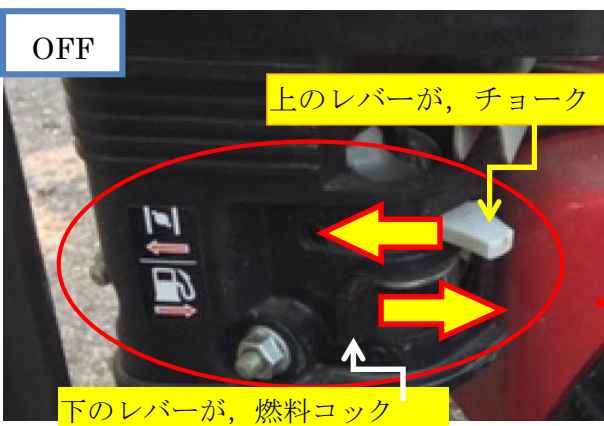


エンジンポンプのオイルゲージを開けて、エンジンオイルを確認します。オイルゲージの先部分のみしかオイルで濡れていなければ、(オイルゲージに) オイルを給油します。



給水ホースをエンジンポンプの吸水口に差し込みます。

※レバーロックは固い場合がありますが、必ず締めて下さい。



エンジンポンプのチョークレバーと燃料コックを ON にします。

- ①燃料コックは右に動かす。
- ②チョークレバーは左に動かす。



エンジンスイッチを ON にします。



後方に人がいないことを十分確認し、始動グリップ（リコイルスタータハンドル）を静かに引いて重くなるところで止め、勢いよく引っ張ります。エンジンがかかれば始動グリップをゆっくり戻してください。  
※一度でエンジンがかからない場合は、かかるまで勢いよく引っ張ってください。



エンジン回転を調整します。  
スロットルレバーを右にすればエンジンが全開になります。



エンジンが動いた後、チョークレバーを元（右に）戻します。



バルブを徐々に開けます。この時、バルブを一気に回さないように注意します。





組立式仮設給水栓の蛇口から水が出るのを確認します。

※初めは、水道水が濁ることや、蛇口から勢いよく水が出るがありますが、しばらくするとお使いいただけます。

## 7 エンジンポンプの停止



燃料コックを左に動かし、“OFF”にします。そのまま運転を続け、エンジン内に残った燃料を使いきるまで電源を切らないで自動的にエンジンが停止するのを待ちます。



停止後は、エンジンスイッチを“OFF”にします。



### 【引き続き使用する場合の停止方法】

- ①スロットルレバーを左に動かし、エンジンの回転数を低速にします。
- ②エンジンスイッチを“OFF”にして、エンジンを止めます。
- ③燃料コックを左に動かし、“OFF”にします。

## 8 片づけ



マンホール内のバルブを閉めます。



給水口に接続されているホースを取り外します。



給水口のふたを閉めます。



ウイングポンプや組立式仮設給水栓から全ての水を出しきってください。

組立式仮設給水栓やポンプといった各接続部分からホース取り外します。

※このとき使用後のホース内に残っている水を必ず抜きます。

### 【エンジンポンプの後処理】



本体に残った水をドレンプラグから完全に抜きます。(残水があると事故や故障の原因となります。)



マンホールの転落防止梯子を取付け、マンホールを閉めます。



資機材保管場所に資機材を戻して完了です。  
※資機材はよく乾燥させてから収納してください。



エンジンポンプの燃料(ガソリン)が無くなれば、山手中学校第2体育館下防災倉庫内のガソリン缶(1L×18缶)で補給する。